

## ■ 掲示板

## ■ 北海道大学触媒化学研究センター 教員募集

1. 募集人員：准教授 1名
2. 所属：触媒基礎研究部 表面構造化学研究部門（教授 朝倉清高）
3. 専門分野等：表面科学，表面活性構造化学  
新しい表面構造・物性解析手段を開発して，よく規定された新規固体表面の設計とその機能解析をおこない，新規触媒開発に結びつける研究。触媒ターゲット研究アセンブリ（本センターホームページ <http://www.cat.hokudai.ac.jp/>を参照）の研究クラスターリーダーとしても研究を展開していただきます。なお，大学院工学研究科大学院生の教育担当になります。
4. 採用予定日：採用決定後できるだけ早い時期。
5. 応募資格：博士の学位を有すること。
6. 選考方法：触媒化学研究センター協議委員会の議を経て決定します。
7. 提出書類
  - (1) 履歴書……別紙様式-1（ホームページからダウンロードできます。）
  - (2) 研究業績等…別紙様式-2（ホームページからダウンロードできます。）
  - (3) 主要論文別刷（またはコピー）（10編以内 各3部）
  - (4) 現在までの研究の概要（2,000字以内）
  - (5) 今後の研究及び教育に関する抱負（2,000字以内）
  - (6) 推薦者のある場合は，その推薦書
  - (7) 自薦の場合は，応募者についての所見を求め得る方2名の氏名及び連絡先
8. 応募期限：平成19年12月17日（月）必着
9. 応募書類  
提出先 〒001-0021 札幌市北区北21条西10丁目  
国立大学法人 北海道大学触媒化学研究センター長 上田 渉  
電話：(011)706-9104（事務部庶務担当）  
FAX：(011)706-9110（事務部庶務担当）  
（注）郵送の場合は，封筒に「表面構造化学研究部門教員公募」と朱書きし，書留で送付願います。なお，応募書類が到着した際には，到着の旨を電子メール等で連絡しますので必ずご確認ください。応募書類は，原則として返却いたしません。
10. 照会先：〒001-0021 札幌市北区北21条西10丁目  
国立大学法人 北海道大学触媒化学研究センター  
教授 朝倉清高  
電話：(011)706-9113，FAX：(011)706-9113  
電子メール：askr@cat.hokudai.ac.jp
11. その他：ホームページ <http://www.cat.hokudai.ac.jp/>

## ■ 財団法人高輝度光科学研究センター協力研究員公募

1. 求人人員：協力研究員 1名
2. 所属：利用研究促進部門応用分光物性グループ

3. 専門分野：SPring-8 放射光光源が持つ高輝度性，偏光性を最大限に活かし，硬 X 線光電子分光装置を利用して CREST プロジェクト「LSI 用 3 次元カーボン・アクティブ配線の開発」にかかる電子状態評価の研究とユーザー支援を担当していただきます。
4. 応募資格：博士の学位取得者またはこれと同等以上の能力を有する方。
5. 着任時期：2008年4月1日以降
6. 任期：2011年3月31日を限度とし，年度毎に契約更新
7. 提出書類：
  - (1) 履歴書（写真添付。指定様式 Web より）
  - (2) 研究業績（博士論文等，あるいは現在の職務内容等を含む）
  - (3) 業績リスト（発表論文と学会発表などのリスト）
  - (4) 推薦書（自薦可，様式は任意）
  - (5) 代表的な研究論文の別刷（5編以内）
8. 応募締切：2008年1月31日必着
9. 書類送付先：
  - (1) 679-5198 兵庫県佐用郡佐用町光都 1-1-1
  - (2) 財団法人高輝度光科学研究センター
  - (3) 総務部人事課
  - (4) 郵送で「応募書類在中」と朱書
  - (5) Tel：0791-58-0951，Fax：0791-58-2794
  - (6) e-mail：jinji-saiyo@spring8.or.jp
  - (7) [http://www.spring8.or.jp/ja/news/job\\_opportunity/07b005](http://www.spring8.or.jp/ja/news/job_opportunity/07b005)
10. 問合せ先：  
研究・業務内容について  
利用研究促進部門 副部門長 渡辺義夫  
e-mail：y.wata@spring8.or.jp  
Web にて募集要項を確認の上ご応募下さい

## ■ 佐賀大学シンクロトン光応用研究センター教授公募

1. 公募する職種・人数：教授 1名
2. 所属部門：シンクロトン光応用研究センター
3. 専門分野，仕事の内容：  
シンクロトン光利用を基軸として，「半導体と生命体を融合した環境・医用・エネルギー材料の開発研究」を推進するとともに，センター活動において中核的な役割を果たせる人。
4. 着任時期：2008年4月1日以降のなるべく早い時期
5. 任期：なし
6. 応募資格：  
博士の学位を有し，大学院での教育を担当できる方（\*）  
\* 全学教育や学部教育なども担当頂く場合が有ります。
7. 提出書類：  
○履歴書（写真添付），○研究業績の概要（1000字程度），○研究業績リスト，○教育実績の概要（1000字程度），○主要論文別刷り5編，○外部資金応募状況，○着任後の研究計画と教育へ

の抱負(各々1600字程度), ○照会可能な方2名の氏名・連絡先

8. 応募締切: 2008年2月1日(金)必着

9. (1)書類提出先および(2)問合せ先:

(1) 〒840-8502 佐賀市本庄町1番地  
佐賀大学シンクロトン光応用研究センター  
センター長 鎌田雅夫宛

(2) 同上

TEL: 0952-28-8854 FAX: 0952-28-8855

E-mail: kamada@cc.saga-u.ac.jp

10. 「教員応募書類在中」と朱書きし、郵送の場合は書留で送付のこと。なお、応募書類は返却しない。

#### ■独立行政法人理化学研究所 播磨研究所

放射光科学総合研究センター 基盤研究部長 公募

募集人員: 基盤研究部長1名

所属: 基盤研究部(新設)

専門分野: SPring-8に於ける先端光源利用施設の高度化を推進。将来的にはX線自由電子レーザー利用施設も含めた、それらの運営と普及。

応募資格: 大学院において研究・技術指導を担当する教授に相当する実力と研究実績をもつ方。

着任時期: 2008年10月1日以降なるべく早い時期

勤務形態: 常勤で60才定年。ただし、審査をへて、60才以降(73才を限度とする)も上席研究員として研究・業務継続可能。

提出書類:

- (1) 履歴書(写真貼付)
- (2) 研究業績目録(その中の主要論文5編以内に○印をつけ、別刷 各1部を添付)
- (3) 従来の研究概要と採用された場合の研究・業務計画(合わせてA4用紙5枚程度)
- (4) 応募者本人の研究および管理能力を評価できる方3名の氏名, 連絡先。

※書類選考後、面接を行います。なお、応募書類は返却しません。

応募締切: 2008年3月31日

書類送付先:

〒679-5148 兵庫県佐用郡佐用町光都1-1-1

独立行政法人理化学研究所 播磨研究所

放射光科学総合研究センター 城生体金属科学研究室 城 宜嗣

※簡易書留で「基盤研究部長応募書類」と朱書

TEL 0791-58-2817 FAX 0791-58-2818

e-mail: yshiro@riken.jp

その他: 詳細は、Webにてご確認ください。

<http://www.riken.jp/>

<http://www.harima.riken.go.jp/>

#### ■榊田中央研究所 正社員募集

職種: 客員研究員(最長3年間の契約, 1年毎の更新)各1名

職務内容: 放射光を用いた触媒材料解析

応募資格: 放射光および触媒化学の知識を有する修士以上の方

応募方法: 応募職種・職務内容を明記の上、履歴書(写真添付)、職務歴(研究実績)、論文リスト、主要論文別刷(コピー可)等を下記宛に郵送してください。(応募書類は返却いたしません。応募の秘密は厳守いたします。)

着任時期: 2008年4月1日以降

書類送付先・お問合せ先:

〒480-1192 愛知県愛知郡

長久手町大字長湫字横道41-1 榊田中央研究所

人事課 羽田, 宮崎 Tel: (0561)63-6509

E-mail: saiyo@mosk.tytlabs.co.jp

URL: <http://www.tytlabs.co.jp/>

#### ■キヤノンアネルバテクノクス株式会社 人事公募

1. 公募職名・人数: 技術開発員(正社員)・1名
2. 所属: キヤノンアネルバテクノクス株式会社: 技術開発本部 分析技術部 質量分析技術・開発G
3. 職務内容(予定): 質量分析を中心とする荷電粒子(イオン, 電子)応用装置の要素技術開発
  - ・イオン化源(イオン付着, 電子衝撃)の開発
  - ・イオン輸送系の開発
  - ・質量分析計(QMS, TOFなど)の開発
  - ・その他関連技術(粒子計測, 真空など)の開発
4. 望ましい知識・スキル:
  - ・荷電粒子関連の実験技術
  - ・荷電粒子挙動の理解, 解析
  - ・基礎物理学一般
  - ・実験部品の基本的な設計
  - ・電気回路の基本的な理解
5. 望ましい資格: 修士, 博士
6. 年齢: 24~33才くらいまで
7. 提出書類:
  - ・履歴書(写真付)
  - ・研究経歴, 業績の概要
  - ・職務経験のある方は, 職務経歴書(応募書類は返却しません)

8. 書類送付先・問合せ先:

〒215-8550 神奈川県川崎市麻生区栗木2-5-1

キヤノンアネルバテクノクス株式会社

総務人事グループ 主任 田中 進

電話 044-980-3500

tanaka.susumu@canon-anelvatx.co.jp

9. その他: 採用については親会社であるキヤノンアネルバ株式会社となります。

(キヤノンアネルバテクノクス株式会社には出向扱い)

## ■行事予定

開催月日	名 称	開 催 地	主催又は問い合わせ先	掲載巻・号
2007年 12/10-11 12/13-14	講習会「粉末結晶解析・蛋白質結晶解析への直接法の新展開」	「東京会場」 東京理科大学 森戸記念館 「大阪会場」 マイドームおおさか	日本結晶学会 E-mail: uekusa@cms.titech.ac.jp	20・5
12/12	第7回東北大学多元物質科学研究所研究発表会	東北大学片平さくらホール	東北大学多元物質科学研究所 E-mail: conf2007@tagen.tohoku.ac.jp	20・6
2008年 1/12-14	第21回日本放射光学会年会・放射光科学合同シンポジウム	立命館大学 びわこ・くさつキャンパス	日本放射光学会 E-mail: jsr08@jssrr.jp	20・5
1/22	第17回放射線利用総合シンポジウム	大阪大学中之島センター	社団法人大阪ニュークリアサイエンス協会 公立大学法人大阪府立大学産学官連携機構 E-mail: onsa-ofs@nifty.com	20・6
1/24	表面科学技術研究会—センサーと表面技術・表面科学—	神戸大学瀧川記念学術交流会館	日本表面科学会関西支部, 表面技術協会関西支部 E-mail: nakao-m@mns.kyutech.ac.jp	20・6
3/5-7	The 1st J-PARC International Symposium International Symposium on Pulsed Neutron and Muon Sciences (IPS08)	茨城県市町村会館	J-PARC センター E-mail: IPS08@ml.j-parc.jp	20・6
9/8-12	第14回プラズマ理工学国際会議 (ICPP2008)	福岡国際会議場	プラズマ・核融合学会, 自然科学機構核融合科学研究所, 九州大学 E-mail: icpp2008@triam.kyushu-u.ac.jp	20・6
10/28-31	第4回真空・表面科学アジア・オーストラリア会議 第49回真空に関する連合講演会 (併催)	くにびきメッセ	日本真空協会 E-mail: yoshio.saito@kek.jp	20・6

本欄では、研究会、シンポジウム、国際会議等のおしらせを募集しております。掲載ご希望の方は事務局までご連絡下さい。一記事の長さは1/2ページ以下を目安とし、様式は事務局で変更させて頂く場合がございます。

### ■第7回東北大学多元物質科学研究所研究発表会

主 催：東北大学多元物質科学研究所

期 日：2007年12月12日(水)

会 場：東北大学片平さくらホール  
(〒980-8577 仙台市青葉区片平 2-1-1)

#### プログラム

##### 第1部

- 13:00~13:10 多元物質科学研究所長 齋藤文良 挨拶  
13:10~14:00 特別講演 相田卓三先生  
(東京大学大学院工学系研究科 教授)

14:00~15:00

- 三ツ石方也 (多元研 多元ナノ材料研究センター 准教授)  
加納純也 (多元研 多元設計研究部門 講師)  
村上恭和 (多元研 先端計測開発センター 准教授)

15:00~15:20 授賞式

素材工学研究奨励賞, 勸学計測振興会賞, [旗野奨学基金]  
多元物質科学研究奨励賞

##### 第2部

- 15:30~16:30 ポスターセッション A  
16:30~17:30 ポスターセッション B

参加費：無料

懇親会：会場 東北大学 片平さくらホール

17:40~19:30 (会費：一般2,000円, 学生1,000円)

##### 申込先：

〒980-8577 仙台市青葉区片平 2-1-1

東北大学多元物質科学研究所 多元発表会実行委員会

FAX 022-217-5211 E-mail conf2007@tagen.tohoku.ac.jp

URL <http://www.tagen.tohoku.ac.jp/general/event/meeting/2>

## ■第17回放射線利用総合シンポジウム

主催：社団法人大阪ニュークリアサイエンス協会  
公立大学法人大阪府立大学産学官連携機構  
日時：2008年1月22日(火) 10:00-17:00  
会場：大阪大学中之島センター（大阪市北区中之島4-3-53）  
詳細：<http://homepage2.nifty.com/onsa/>

## ■表面科学技術研究会

—センサーと表面技術・表面科学—

主催：日本表面科学会関西支部，表面技術協会関西支部  
共催：応用物理学会，神戸大学研究基盤センター  
日時：2008年1月24日(木) 13:00-17:30  
場所：神戸大学瀧川記念学術交流会館  
(〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1  
TEL 078-803-5583)

内容：

- 機能膜を用いた感性バイオセンサの開発  
(九州大学) 都甲 潔
- においセンサの原理とにおい識別システムの工夫  
(株式会社島津製作所) 喜多純一
- 人工視覚デバイス—生体と半導体とのインターフェイサー  
(奈良先端科学技術大学院大学) 太田 淳
- 半導体プロセスにおける流体制御技術  
(株式会社堀場エステック) 清水哲夫
- 強誘電体薄膜を用いた超音波アレセンサの作製と物体位置計測への応用  
(大阪大学) 奥山雅則

定員：100名

参加費：無料

参加申込締切日：2008年1月18日(金)

連絡先：

〒804-8550 福岡県北九州市戸畑区仙水町1-1  
九州工業大学 工学部  
中尾 基  
Tel・Fax：093-884-3608

E-mail：nakao-m@mns.kyutech.ac.jp

ONLINE 申込：

<http://www.sssj.org/Kansai/goudou080124.html>

## ■The 1st J-PARC International Symposium

International Symposium on Pulsed Neutron and Muon Sciences (IPS08)

(和文名「パルス中性子及びミュオンによる科学に関する国際シンポジウム」)

主催：J-PARC センター  
共催：高エネルギー加速器研究機構 物質構造科学研究所  
日本原子力研究開発機構 量子ビーム応用研究部門  
会期：2008年3月5日(水)~7日(金)  
会場：茨城県 市町村会館（茨城県水戸市笠原町978-26）  
参加費：30,000円  
懇親会：3月7日夜，会費（予約）8,000円  
見学会：3月7日午後，  
見学場所：J-PARC（茨城県那珂郡東海村）

問合せ先：

シンポジウム事務局：高田 弘，中島建次  
連絡住所  
J-PARC センター 物質・生命科学ディビジョン  
〒319-1195 茨城県那珂郡東海村白方白根2-4  
日本原子力研究開発機構  
TEL：029-282-6936 FAX：029-284-3889  
e-mail：IPS08@ml.j-parc.jp

詳細：URL：<http://www.ips08.com>

## ■第14回プラズマ理工学国際会議 (ICPP2008)

主催：プラズマ・核融合学会，自然科学機構核融合科学研究所，九州大学  
日時：2008年9月8日(月)~9月12日(金)  
会場：福岡国際会議場  
詳細：<http://www.triam.kyushu-u.ac.jp/ICPP/>

## ■第4回真空・表面科学アジア・オーストラリア会議 第49回真空に関する連合講演会（併催）

主催：日本真空協会（VASSCAA-4 組織委員会）  
後援：IUVSTA  
協賛：日本放射光学会，他  
日時：2008年10月28日(火)~31日(金)  
場所：くにびきメッセ 島根県松江市

一般参加登録料（予定）：  
35,000円 第4回真空・表面科学アジア・オーストラリア会議  
15,000円 第49回真空に関する連合講演会

会議案内のホームページ：  
<http://wwwsoc.nii.ac.jp/vsj/vasscaa4/>

問合せ先：  
日本真空協会事務局（電話）03-3431-4395  
contact person (E-mail) [yoshio.saito@kek.jp](mailto:yoshio.saito@kek.jp)（齋藤芳男・日本真空協会常務理事）

## ● 会誌オンライン利用方法の変更に関するご案内 ●

編集委員長 櫻井吉晴

渉外幹事 繁政英治

日本放射光学会のホームページの一部更新に伴い、オンライン会誌へのアクセス方法が次の通り変更になりましたのでお知らせします。

オンライン会誌にアクセスするには、放射光学会のトップページにある会員専用ボタンをクリックして頂き、会員専用ページにアクセスして頂くことになります。

会員専用ページにアクセスするためのユーザー ID とパスワードは

User ID : jsr206

Password : tx3e5Ngy

です。このユーザー ID とパスワードは、次号が発行された後に失効します。

会員専用ページにある、学会誌「放射光」のオンライン閲覧をクリックして頂ければ、オンライン会誌を従来通りご覧頂くことができます。

会員以外の方へのパスワード漏洩は禁止いたします。また、記事の著作権は日本放射光学会にありますので、転載等のご希望に関しては、必ず事務局までご連絡下さい。良識あるご利用で、会員の皆様のお役に立てれば幸いです。

ホームページに関して問題等御座いましたら、繁政 (sigemasa@ims.ac.jp) までご連絡下さい。オンライン会誌に関するご連絡は、櫻井 (sakurai@spring8.or.jp) までお願いします。

## 一口メモ

## オリヅルラン

ユリ科オリヅルラン属の多年草で、南アフリカが原産のオリヅルランは耐寒性がないが、代表的な観葉植物で、室内では一年中楽しめる。特に、吊り鉢にすると、白色に縁とられた斑入りの葉が垂れ下がる姿はオリヅルに似ていて、優雅である。その生育方法は極めて簡単で、表土が乾燥したら、水を与えればよい。また、増やし方は葉先に気根が数本ついている部分を切り取り、小鉢に植えておけば良い。

我が家の庭園では、中秋から晩秋時期に楽しんだ数種類の菊、ホトトギス、ムラサキシキブ、ミヤコフスレ、四季咲きのバラが枯れたと共に、渋柿、ゆず、金柑、みかんが収穫時期を迎えました。また、10月下旬に植えました球根類から芽が出始め、早春の開花の準備を始めました。このように、植物、果物は四季を敏感に感じて、決まったときに開花したり、収穫できますが、環境の悪化で異変が起こらないことを望むのみです。

(No. 78, K. Ohshima)

